

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
基礎看護学実習Ⅱ	2単位 (90時間)	全専任教員	2年前期

【実習目標】

- 1 健康障害をもつ対象者を身体的、精神的、社会的側面から考えて理解する。
- 2 対象の状態に合わせた日常生活行動の援助技術を考え実施できる。
- 3 看護者としてのコミュニケーション能力を高める事ができる。

【授業の進め方】

実習 患者受持ち制による看護実践

- 1 実習要項、実習手引きに基づき実習を行う。
- 2 病棟のオリエンテーションを受ける。
- 3 受け持ち患者を決定し、コミュニケーションを行う。
- 4 カルテ、スタッフ、家族とのコミュニケーションを通し、身体的、精神的、社会的側面を理解する。
- 5 受け持ち患者に行われている援助の実際を見る。
- 6 患者に行われている援助の根拠を明らかにしたうえで実施する。
- 7 受け持ち患者におこなわれている日常生活行動の援助の実施、アセスメント、評価、計画をし、患者の状態に合わせた援助を考える。
- 8 対人関係を成立させるためのコミュニケーションを考える。(再構成)
- 9 再構成をカンファレンスで検討することで自己のコミュニケーションの傾向を知る。
- 10 まとめのカンファレンスで実習を振り返る。
- 11 記録、実習評価表を提出する。

【授業スケジュール】

実習時間 8:30~17:00 (昼休憩1時間含む) 7.5時間×12日 (90時間)

【教科書】

疾患・病態生理、看護学、看護技術の関連書

【参考書】

看護過程授業資料

【評価方法】

出席時間、記録物の提出、実習評価表に基づき評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人看護学実習 I	2 単位 (90 時間)	全専任教員	2 年後期

【学習目標】

発達段階や病期（健康レベル）の特徴を踏まえ、健康問題をもつ患者を理解し、健康を回復するための看護ができる。

【授業の進め方】

入院中の患者を 1～2 名受け持ち、患者への関わりを通して必要なニーズを把握し、日常生活援助を行う。学生自身が看護展開の中で気付いたり、感じ、考えたりしたことは、実習記録、カンファレンスで言語化し、グループメンバーとディスカッションできるようにする。

【授業スケジュール】

患者受持ち制による看護実践

- 1 臨地オリエンテーション
- 2 受け持ち患者の情報収集、整理
- 3 日常生活援助・看護技術の実施
- 4 アセスメント項目から関連図作成
- 5 看護問題の抽出
- 6 看護計画立案、実施、評価

【教科書】

実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席時間、評価表に基づいた実習状況

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 間
老年看護学実習 I	2 単位 (90 時間)	松 沢 土 子 (臨床経験 26 年)	2 年前期

【学習目標】

地域で暮らす、さまざまな健康レベルの高齢者の生活の様子を知り、高齢者の生活を支援するために看護の果たす役割について考える

【授業の進め方】

1 地域で暮らす健康な高齢者の理解

健康な高齢者の地域活動に参加し、高齢者の生活、身体状況、健康維持に対する意識
生きがいなど高齢者の実際を理解する。

2 施設実習 一部受持ち制による看護実践及び見学実習を行う

デイサービス 4 か所、宅老所 5 か所、介護老人保健・福祉施設 8 か所

【授業スケジュール】 8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 (昼休憩 1 時間含む)

内 容	時 間
健康な高齢者とマレットゴルフ	7.5 時間 (7.5 時間 × 1 日)
デイサービス	22.5 時間 (7.5 時間 × 3 日)
宅老所	22.5 時間 (7.5 時間 × 3 日)
老人保健・福祉施設	30 時間 (7.5 時間 × 4 日)
学内日 (学習まとめ・整理)	7.5 時間 (7.5 時間 × 1 日)

【教科書】

系統看護学講座 老年看護学 医学書院

【参考書】

随時適切なものを紹介

【評価方法】

出席時間、評価表に基づき評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児看護学実習 I	1 単位 (45 時間)	佐藤 理紗 (臨床経験 7 年)	2 年後期

【学習目標】

- 1 健康な乳幼児期の子どもと触れ合い子どもへ関心を深め、成長発達段階やその特性を理解する。

【授業の進め方】

実習 1 保育園実習 年齢別のクラスに入り実践

【授業スケジュール】

- 1 保育園実習
実習時間 8:30～17:00 (昼休憩 1 時間含む) 7.5 時間×6 日 (45 時間)

【教科書】

実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

- 1 保育園実習評価表に基づき評価 100 点分
- 2 出席時間・見学態度・レポート内容による総合評価 10 点分

1・2 を合算した点数を 100 点満点に換算した点を総合点数とする